

「文化振興へ…街づくりからの視点」梗概

第20回文化政策部会 / 2005年11月8日

田村 和寿…都市計画連合アトリエ

早稲田大学・芸術学校

‘街づくり’の対象は平明な日常の暮らし、即ち‘ケ’の世界が主ですからよりリアルな発想が支配的になりがちです。とは言え成熟化に向かう都市社会では人々のQLや生き方発見、自己実現欲求に対応し得る付加価値を具えた環境形成が強く望まれます。地域の自立や競合、交流の必要はさらにこの傾向を加速しています。過去の蓄積に加えて、新たな‘街づくりと文化振興’の交錯が語られる所以ではありますが、果たして何処にシーズを求め、誰が中心になって、どんな形でそれを表現して行くべきでしょうか。特定の文化芸術分野とは‘文化の概念’の理解に異なりがあるかもしれませんが、これらについて所謂‘街づくり’のサイドから概観してみます。

‘街づくり’における‘文化’の読み方…

‘固有の文化構成体’としての都市・地域…

‘街づくり’への‘文化性’投入のメニュー群…

‘文化の街づくり’と地域のマネージング…